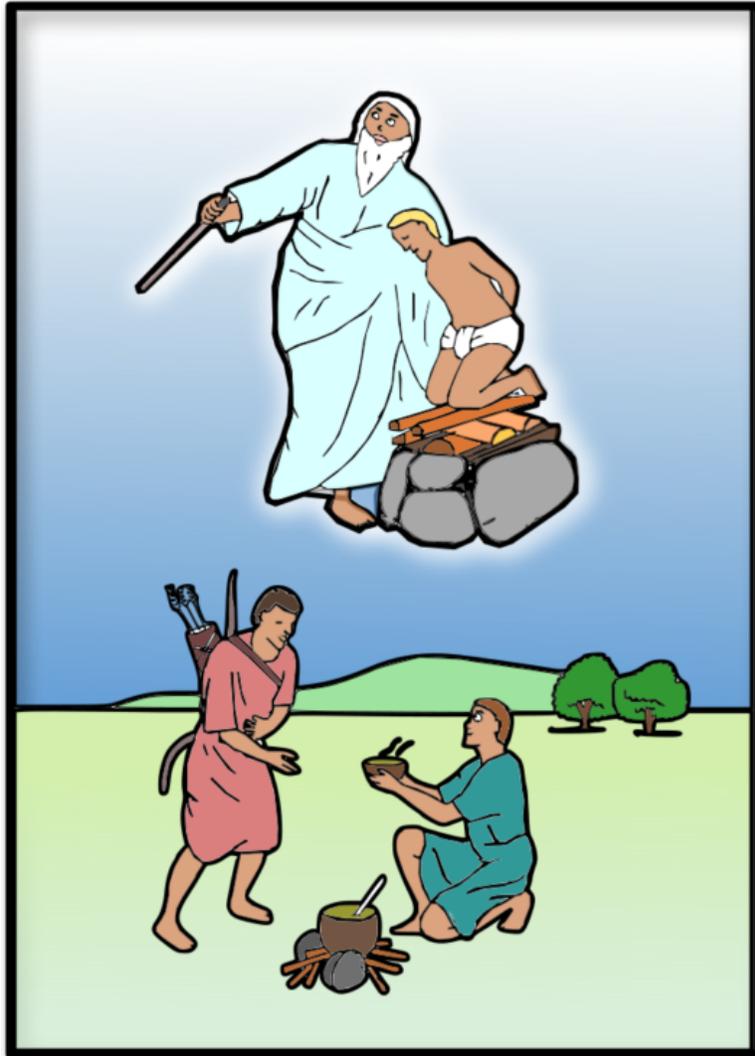


族長の時代

人々、土地、国家、そして祝福



創世記 12-36

第5課:族長の時代

人、土地、国家、そして祝福

聖書

本	著者	章	年
創世記	モーセ	12 - 36	紀元前1450-1410年

概要

神はアブラハムを呼び、自分の子孫を偉大な国にすることを約束し、この契約はイサクとヤコブを通して展開されます。ヤコブの旅には、神との出会い、家族の葛藤、そしてイスラエルの基盤となる12人の息子の誕生が含まれます。

レジュメ

アブラハム(アブラム)

- **呼びかけと約束 (1 回目)** - 神はアブラム (後のアブラハム) に家を離れるように呼びかけました 彼を偉大な国にすると約束されました - 創世記 12:1-3
- **約束(2回目)** - 神は非常に年をとって不毛のサライ(後のサラ)ですが、神は息子アブラムに約束を果たすと約束し、彼の子孫にカナンの地を与えます。 - 創世記15
- **イシュマエル** - 妊娠できなかつたサラは、女奴隷のハガルをアブラムに渡します。ハガルがイシュマエルを産む - 創世記 16:1-6
- **約束としるし (3 回目)** - 神はアブラムに約束を改めて言われます - 約束のしるしとして、彼の家族と子孫のすべての男性は割礼を受けなければなりません。名前はアブラハムとサラに変わります。 - 創世記 17:1-27
- **約束の子** - アブラハムの妻サラがついにイサクを産む - 創世記 21:1-7
- **試練** - 神はアブラハムを召してイサクを生け贄に捧げ、彼の信仰を試されました - 創世記 22:1-9

イサク

- **リベカ** - アブラハムのしもべは、息子イサクの妻を自分の民の中から見つけるためにハランに送り返されます。神はしもべに好意を与え、リベカを連れて戻ってくる - 創世記 24:1-67
- **双子の息子** - リベカは双子の息子ヤコブとエサウを産みます。神は、それぞれが国家になるが、神は、それぞれが国家になるが、兄が弟に仕えることを明らかにされました - 創世記 25:19-26
- **ヤコブの祝福** - イサクはエサウを好んだが、(ヤコブを好んだ)リベカは老後のイサクをだまし、ヤコブは兄に向けられた祝福を受けた。 - 創世記 27:1-40

イスラエル (ヤコブ)

- **逃げる兄弟** - 欺いて祝福を受けた後、彼は兄エサウを避けてハランへ逃れる。途中、夢の中で神が現れ、アブラハムとの契約を彼に確認する。 - 創世記 28:1-22
- **結婚** - 彼は叔父ラバンのもとで働き、レイチェルとの結婚を望んでいたが、だまされてレアと結婚することになる。しかし後に、レイチェルも妻として迎える。 - 創世記 29:15-30
- **子供たち** - ヤコブは、レア、ラケル、そして彼女たちの女奴隷との間に12人の息子をもうける。彼らは後にイスラエルの12部族の族長となる。 - 創世記 29:31-30:24
- **神との格闘** - カナンへ戻る途中、ヤコブはヨルダン川を渡り、神の使いとされる存在と一晩中格闘する。彼は「祝福してくれるまで離さない」と主張し、ついに祝福を受け、名前はイスラエルに変えられる。 - 創世記 32:22-32

要点

1. 神の贖いの計画は、一人の男とその家族を選ぶことから始まる。
2. 神はアブラハムとその子孫に、土地・民・祝福を約束される。
3. 神に選ばれた人々は、決して完璧ではなかった。